

きっと・もっと

令和3年度
深溝小ホームページ通信
3年4月5日(月)
No.1



新しい春を迎えて



日に日に春の日差しの強さが増し、初夏のような温かい日々が続いています。校庭の桜の木は、新しい出逢いの春を待ち切れず、もうすでに満開を迎えました。いよいよ明日、入学式、始業式となります。深溝小学校は、新たに新1年生60名を迎え、令和3年度をスタートさせます。児童一人一人が安心して、安全に、学校生活を送り、健やかに成長できるように、全教職員で努めていきたいと思えます。今年度も学校教育へのご理解、ご協力をお願いします。明日の入学式のために、本日、新6年生が登校して入学式の会場準備を行ってくれました。自分から進んでそうじをしたり、教科書を分けたりする姿から最上級生として頑張ろうという意気込みを感じました。どんなことにも「心を配ること」をこれからも大切にして生活してほしいと思えます。



春の音が聞こえてきます

右の写真は深溝小学校正門付近にある「立志花壇」の桜の木です。花壇にはチューリップがきれいに咲いています。深溝小学校は高台にあり、校舎から遠方まで景色を眺めることができます。耳をすませば、どこかからホトトギスの鳴き声が聞こえてきます。新学期が始まれば、校舎内から子どもたちの元気な声が聞こえるようになることでしょう。新しいスタートへの期待がどんどん大きくなっていきます。



—教師のひとりごと / 『きっと』できる、『もっと』できる—

今年度、ホームページ上で通信を掲載していきたいと思っています。学校での活動の様子をお伝えしたり、学校からの連絡を掲載したりしていく予定です。できるかぎり、最新の情報を発信していこうと思っています。ぜひ、ご覧ください。

通信のタイトルは「きっともっと」です。子どもたち一人一人が自分、友達のそれぞれの個性を大切にするとともに、小学校での活動を通して大きく成長して欲しいと願っています。